

しいたけ栽培技術情報 No.4

今こそ原基(シイタケの芽)作りを！

盆過ぎから9月中旬頃にかけての時期は、今秋の秋子や来春の春子となる原基(シイタケの芽)がホダ木の樹皮下で形成される時期です。

原基が多ければ、発生量も増加しやすくなりますので、原基形成の条件など次のことに留意して作業を行ってください。

原基形成の条件

- 1 約15~25の気温(日平均20。盆過ぎ~9月中旬頃が目安)
- 2 適度な降水量(週100mmくらいが目安。雨量が確保できない場合は散水を行うこと)
- 3 光(ホダ場で本が読めるくらいの明るさ)

原基形成を促進させるための注意点

- 1 原基形成時の気温より下がるまではホダ木を動かすなど刺激を与えない(わずかな刺激でも、形成し始めた原基が自己消化を起し消えてしまう)
- 2 降雨が約1週間無い場合にはできるだけ散水をしてホダ木に水分を与える
- 3 樹皮が厚く発生が見られない古ホダ木は、1~2箇所クギ目などあけて水分を吸収させる。(降雨前や降雨時が効果的)
(新ホダ木はクギ目をあけるとホダ木の寿命が短くなるおそれがあるので、樹皮の状態を見ながら行うこと)
クギ目をあける専用のハンマーは最寄りの振興局等にあるので使用してみたい場合は相談すること。
- 4 集中豪雨などで短時間にたくさん雨が降っても、ホダ木の表面を流れ落ちることが多く、ホダ木の水分吸収はそれほど多くないので、必要により散水を実施する。

豪雨時の注意点

- 1 ホダ木流亡に注意
井げた積みのホダ木は水に浮きやすく流されやすいので、雨水が滝のように流れる場所に置くことは避ける。
- 2 台風接近時は、安全のため屋外での作業を中止する。